

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



ザンビアの開校した中学高等学校(セカンダリースクール)とその生徒たち!(ザンビア孤児院)

皆様の尊い御支援、また様々なかたちでの御協力、いつもありがとうございます。

2月の12日に、ザンビア孤児院で中高等学校の開所式が行われました。

現地のストリートチルドレンのケアを本格的に対応するにあたり、学校教育の必要性を強く認識した現地スタッフの桜子さんの要望により、既に小学校は完成しておりましたが、今回は中高等学校の開校になりました。

その経緯に関しては、とてもこの誌面ではお伝えしきれるものではありませんが、ただ皆様をはじめ、多岐にわたる多くの方々の御尽力の賜物と覚え、本当に感謝申し上げます。

正直、今回の働きは、私共孤児院の働きを超える感すらありましたが、孤児を生み出さない社会を作る、という点からみるならば、大きな一歩と言えるものと思います、そしてこれから本番と言ってよいのかもしれませんが。

そして、さらに多くの必要にも迫られると思っております。

また、ザンビア孤児院以外の孤児院の働きも、子供達の成長と共に大きく進んでおります。

そしてまた、多くの必要に迫られています。

どうかこれからも、皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。孤児院卒業生のKAが昨年12月に家族で来てくれて、別の日にはMとMAも来てくれました。来るたびに、孤児院の子ども達にと差し入れを持って来てくれる彼らの優しさ感謝し、また彼らの近況を知ることも出来て感謝しています。1月中旬には、日本からご支援者のTさんが出張で近くまで行くからということで、カンボジアにも立ち寄って下さいました。孤児院に来て下さったのは5年振りで、その間孤児院に来た子ども達に会ってとても喜んで下さいました。子ども達はTさんのキーボードに合わせ歌ったりキーボードを教えて頂いたり、また沢山遊んで頂くことが出来ました。本当にありがとうございました!現在、これから受入れる子ども達の就学支援と自立支援を行う為の経済が不足している状況です。私達の働きの中心である孤児となった子ども達の受入れを、さらに進めて行くことが出来ますように、また孤児達の受入れと共にスタッフを増員する必要も伴っていますので、月々の活動費が増加になるようにと願っています。この為の皆様のご支援とご協力を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



日本から訪問して下さったTさん(写真中央)といっしょに!

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様のご支援を心よりありがとうございます。礎の石孤児院ザンビア(Cornerstone of Hope)では2月12日に中高等学校(セカンダリースクール)が開校いたしました。当初、ンゴベ地区にあるスラム街の中心部にある小学校(プライマリースクール)で学ぶ孤児たちが卒業後も継続して学べる場所を模索していたところ、新たにセカンダリースクール建設へ向けてスタートする事になったのです。2022年、とある企業の社長より学校建設のための支援金が寄付された事から始まり、次に建築のための設計図をとある大学の建築学科の学生の方々より無償で提供して下さいました。校舎の建設費は少なくとも数千万円がかかり、私たちにってはとても大きな規模の額でありましたが、なんと校舎の一部の費用を寄付し、施工まで請け負って下さるという連絡を受けたのです。それはお隣、韓国の支援団体の方々からでした。当初、必要の大きさに対して、無力な自分を嘆いたのですが、時にかなった助けが与えられ、2月の開校に至ったのです。しかしながら、校舎全体の完成までにはあと5千万円プラスαの必要があり、今年中に残りの校舎建設に着手できるように前進してまいりたいと思います。さらなるご支援のほどをよろしくお願いいたします。



開校セレモニー、授業開始、学校で学ぶ生徒たち!

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちのための皆様のご協力とご支援を心から感謝致します。
2月7日～9日に学校の創立記念日のイベントと、2月10日には家族の日(2/10)のイベントがあり、子どもたちは今そのために準備しています。
創立記念日のイベントでは、初日朝7時30分から開会式があり、その後各種のスポーツ競技、詩の朗読やダンス等が夜まで行われます。
最終日には表彰式が行われ、家族も招かれて参加することが出来ます。
2月10日の家族の日も朝8時の開会式から夕方までいろいろなスポーツ競技が行われ、表彰式で終わります。
フィリピンの学校では家族のつながりを大切にしています。私たちは愛を持って子どもたちを支えて下さっている皆様を家族のようにとっても大切に思っています。
これからもフィリピンの子どもたちのために、皆様のご支援ご協力をどうかよろしくお願いいたします。



学校のイベントで仮装した子どもたち

松本弘子さんのイラスト



カンボジアの海水浴を楽しむ子供たち